

ご存じ  
ですか

# 被災3県の県議選で 躍進しました

## 日本共産党

岩手 1 → 2

宮城 2 → 4

福島 3 → 5

東日本大震災の被災地、東北3県（岩手、宮城、福島）でおこなわれた県議選の結果、日本共産党は岩手、宮城両県で議席を倍増、福島県でも12年ぶりに代表質問が可能になる交渉会派に復帰するなど、3県全体で改選6議席から11議席へと大きく躍進しました。民主党は4議席減、自民党は現状維持でした。

### 「存在感増す」——地元紙も報道

県知事が「原発全廃」を表明した福島県では、地元紙に「共産は『脱原発』の県民感情をすくい上げた」「議会運営への存在感が増す」（『福島民友』11/21付）と報道されました。

## ひきつづき

# 被災者の生活再建を最優先にした 復興実現のため全力をあげます

被災地ではいまでも多くの人びとが仕事をうしない、仮設住宅でのくらしを余儀なくされています。日本共産党は『二重ローン』の解消をはじめ、被災者一人ひとりの生活と生業（なりわい）の再建のために、国が全面的な支援を行うことを求めています。

### 「復興」口実にした庶民増税おしつけは許しません

野田首相は、所得税などの増税に加え、消費税の増税までうちだしていますが、復興を口実にした庶民増税のおしつけは許せません。財源確保のためには、米軍への「思いやり予算」や政党助成金、法人税減税や証券優遇税制などの廃止こそ優先すべきです。



日本共産党は全国の党組織が分担して被災地の救援活動を展開。東京の組織は、最大の犠牲者を出した宮城県石巻市や女川町などを担当しています。

日本共産党

福岡県委員会

電話 092-411-5131 メール info@fjcp.jp

しんぶん赤旗

日刊紙 月ぎめ 3400円

日曜版 月ぎめ 800円

（日刊紙は毎日、日曜版は毎週ご自宅に配達）